



日本証券業協会
Japan Securities Dealers Association

証券業界におけるSDGs推進に向けた取組み

— 証券業界におけるSDGsの推進に関する懇談会
「貧困、飢餓をなくし地球環境を守る分科会」の検討状況 —

平成31年2月
日本証券業協会



1. 証券業界におけるSDGsの推進に関する懇談会

SDGsで掲げられている社会的な課題に積極的に取り組んでいくため、本協会会長の諮問機関として『証券業界におけるSDGsの推進に関する懇談会』を設置(平成29年9月19日)

証券業界におけるSDGsの推進に関する懇談会
座長: 日本証券業協会会長 / 構成: 有識者及び協会員

貧困、飢餓をなくし 地球環境を守る分科会

証券業を通じて社会的課題解決に貢献するため、インパクト・インベストメント関連の金融商品の組成・販売の促進に向けた具体的方策等について検討・対応する。

◆ 具体的施策例

- ・証券会社役員向けの普及・啓発資料の作成
- ・SDGsに貢献する債券の呼称統一

働き方改革そして 女性活躍支援分科会

証券業界における働き方改革や女性活躍の推進を図るため、業界横断的な方策について検討・対応する。

◆ 具体的施策例

- ・女性社員のネットワーク構築
- ・ベストプラクティス集の作成

社会的弱者への 教育支援に関する分科会

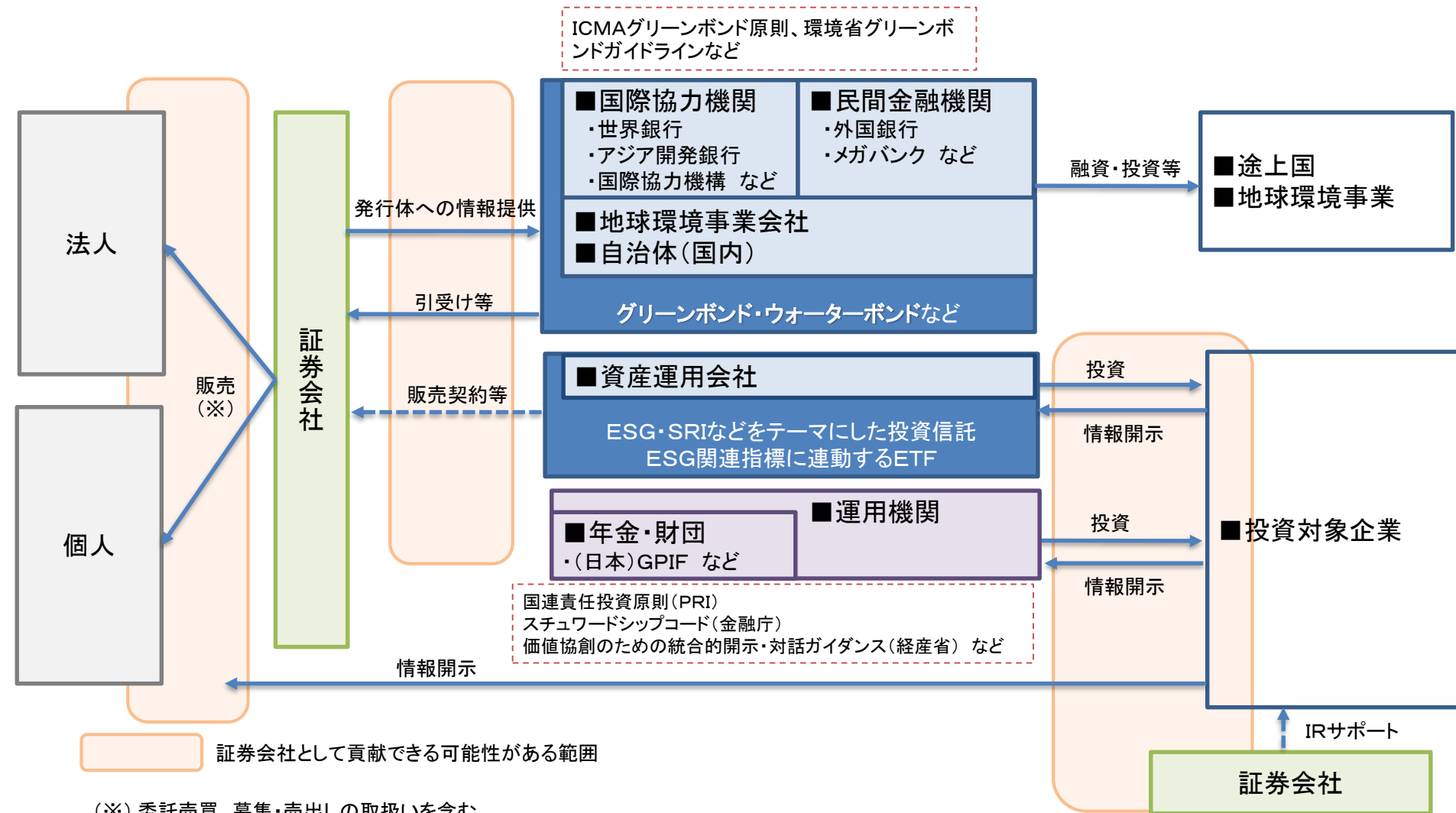
経済的に厳しい状況でも子供達が将来に希望を持って成長できるよう、証券業界として支援できる方策について検討・対応する。

◆ 具体的施策例

- ・古本募金の実施
- ・NPOと証券会社のプラットフォームの構築

2. 社会的課題解決に向けた証券会社の取組みと役割

【参考】社会的課題解決に向けた証券会社の取組みと役割



(※) 委託売買、募集・売出しの取扱いを含む。

3. 挙げられた課題等

SDGsに貢献する金融商品市場の拡大に向けた課題や施策等についての検討

- 統一呼称
— 投資家や発行体にとって、分かりやすい呼称
- 「SDGsに貢献する金融商品に関するガイドブック」の作成
— 証券会社役員向け普及・啓発資料
- 経済的メリット・インセンティブの付与、法規制等の改正
— 利子所得等に対する税制優遇、非課税化や、グリーンボンドのリスク・ウェイトの低減
- 評価体系の確立
— 幅広い投資対象を含むESG評価、評価機関の評価項目統一化やESG関連インデックスの組成
- 投資家行動の在り方
— 少なくとも同条件ならESG関連の投資を行う等の方針策定の促進やESG投資への説明(例えばComply or Explain等)
- 発行会社による情報開示
— 非財務情報開示の重要性とTCFD提言

4. SDGsに貢献する債券の呼称の統一(案)について①

呼称の範囲(商品)について

- ◆ 債券(資金用途指定債券)をターゲットに、「SDGs債」と呼称する
 - ✓ 資金用途が明確又は限定可能であり、SDGsへ貢献するものを特定しやすい
 - ✓ 証券業界における検討で迅速に対応可能

「SDGs」を用いる理由、背景

- ◆ SDGsは幅広い課題の解決に向けた包括的概念
- ◆ 統一呼称の対象であるグリーンボンド、ソーシャルボンド等はSDGsのいずれかの目標に資する
- ◆ 今後、新たな種類のプロジェクトに係る債券の発行にも対応可能と考えられる
- ◆ 証券会社の役職員のSDGs自体の認知度・理解度の向上に資する
- ◆ 証券会社の顧客(個人、企業等)のSDGs自体の認知度向上にもつながる
- ◆ 本分科会は、証券業を通じたSDGsへの貢献を目的とする
- ◆ 一般社会におけるSDGsの認知度向上に伴って、SDGsに関心のある層(投資未経験層を含む)による投資促進につながる
 - ⇒投資家層の拡大
 - ⇒発行体の拡大

4. SDGsに貢献する債券の呼称の統一(案)について②

イメージ

投資対象ベースでの関連

SRI
(社会的責任投資)



・倫理的な排除

ESG投資

- ・インテグレーション
- ・ポジティブスクリーニング
- ・議決権行使/エンゲージメント
- ・ネガティブスクリーニング

E



S



G



・ESG債≒SRI債≒社会貢献型債≒テーマ債(への投資)

・グリーンボンド



・ソーシャルボンド
(ウォーターボンド、ワクチン債、EYEボンド等)



・ソーシャル
インパクト
ボンド

ESGファンド≒SRIファンド≒社会貢献ファンド≒
テーマ型ファンド(への投資)

インパクト・
インベストメント

ICMA原則におけるグリーンボンド等はグローバルスタンダードとして定着
⇒ダブルスタンダードを避けるため、一般的に「SDGs債」に含まれると考えられる範囲を示す

5. 「SDGsに貢献する金融商品に関するガイドブック」の作成

目的

1. 証券会社の**役職員**におけるSDGsに貢献する金融商品(投資)の認知度・理解度の向上
2. **顧客(投資家、企業等)**への普及を通じたSDGsに貢献する金融商品市場の拡大
3. 一般社会への浸透により、**投資未経験のSDGs関心層**の投資行動を促進する

内容(予定)

- SDGsとは
- SDGsと証券業界:SDGsと「投資」の関係、証券業界の機能
- SDGsに貢献する金融商品の概要(歴史等)
- 「SDGs債」について
 - ープロジェクト例
 - ーケース紹介
 - ー発行の推移

地球環境分科会における検討 (第1回～第11回)

(～3月中旬)

本分科会第一次報告書案
とりまとめ

(3月29日)

証券業界におけるSDGs推進に関する
懇談会

(3月末)

「貧困、飢餓をなくし地球環境を守る分科会」第一次報告書公表
(「SDGsに貢献する金融商品に関するガイドブック」公表)